

2020年8月1日開院

“Yuuai Medical Center”

# 友愛医療センター 心臓血管外科だより

Vol.22  
2022年  
6月

## 友愛医療センターハートセンターによる

## 心臓弁膜症への取り組みと現状

ご高齢の患者さまは年齢を重ねるだけで「心臓弁膜症」の罹患率が上昇すると報告されています。友愛医療センターにおいても循環器医療における弁膜症患者さんは年々増加しております。そのような状況の中、2022年5月時点での当院ハートセンターの現状をお伝えします。当院循環器内科と心臓血管外科の取り組みをまとめ、「ハートセンター」と表記させていただきます。

### 1. 重症大動脈弁狭窄症に対するTAVI治療（経カテーテル的大動脈弁留置術）が開始され10ヶ月となります



当院では2021年7月より重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）を開始しました。沖縄県では現在、大学病院と当院の2施設で施行可能な術式となります。2022年5月の時点で、**TAVIの治療患者数は21例**となりました。皆様大きな合併症なく退院されております。

まだまだ私どもの情報発信が弱いこともあり、当院においてTAVIが施行されていることが県内の医療従事者の皆様への周知には至っておりません。今後とも治療結果を含めて情報発信して参りますので、**80歳以上の重症AS患者様**がおられましたら是非ご紹介をよろしくお願いたします。

TAVI候補の患者さまは現在、ご紹介いただいてから1ヶ月以内での治療が可能であります。簡単な紹介状を下述の「心臓弁膜症外来」、もしくは循環器内科外来（嘉数真教担当）へいただければその後の検査等を含めて迅速に対応させていただきます。

## 2. 心臓弁膜症外来を開設し2年となります

### 沖縄初 心臓弁膜症外来について



友愛医療センターには昨年「心臓弁膜症外来」を開設しました。同外来は当院の循環器内科と心臓血管外科の2科合同によるハートチームによって運営される、沖縄県初の心臓弁膜症専門外来です。

心雑音を有する患者さんへの対応でお困りになることはないでしょうか？心雑音があるからといって必ずしも治療を有する心臓疾患があるとは限りません。ただしそのような患者さんの中には、重症化し治療対象となる心臓弁膜症を罹患されている方もいらっしゃると思います。その判断を当院「心臓弁膜症外来」では行っております。毎週水曜日に心臓弁膜症に精通した循環器内科医師が診察させていただきます。特にご紹介いただくために必要な検査や情報はございません。経過等についての簡単な情報提供をいただければ、受診当日に心エコーまで含めた検査を行い診断させていただきます。

## 3. 小さな傷での弁膜症手術を提供します（MICS：ミックス手術）

当院心臓血管外科における小さな傷での心臓弁膜症手術終了直後の患者さん写真をあげさせていただきます。この右側胸部に設置した皮膚切開6-8cmの手術創で、**a)**大動脈弁疾患に対する人工弁置換術、**b)**僧帽弁疾患に対する形成術や人工弁置換術、**c)**三尖弁手術やメイズ手術、が可能となります。単独弁手術であれば大動脈弁は半数、僧帽弁は9割の患者さんにこの創部による手術を導入しております。術後退院までは短く（1週間前後）、退院後は運動制限がありませんので肉体労働や車の運転を含めた早期社会復帰が可能です。当科ではこの手術を積極的に行い県内トップの症例数を有しております。



心臓弁膜症の患者さんは当院「心臓弁膜症外来」へご紹介ください。その後の精査を経て、循環器内科と心臓血管外科医師による弁膜症チームによるカンファを経て治療の妥当性等が検討されます。治療手段の多い施設で、多くの医師による検討がなされることは重要なことです。今後とも、友愛医療センター「ハートセンター」をどうぞよろしくお願いいたします。



執筆：  
心臓血管外科 部長 山内 昭彦



山内昭彦ブログ「日本最南端の心臓外科医日記」より  
「MICS-CABGによる回旋枝領域へのバイパス」



ホームページ



心臓血管外科の  
Facebookが  
新しくなりました！

